

2003 年 7 月の東北地方の天候

【 7 月の特徴 】

- ・ 記録的な低温・寡照
- ・ 上旬と下旬の大雨

(1) 概況

オホーツク海高気圧の勢力が期間を通じて強く、一方、太平洋高気圧の北への張り出しは弱かった。このため、梅雨前線は本州上や本州の南岸に停滞し、東北地方は前線やオホーツク海高気圧からの冷たく湿った東よりの風の影響で曇りや雨の日が続き、記録的な低温・寡照となった。また、上旬や下旬には前線や低気圧の影響で大雨となった。

月平均気温はかなり低い。月降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側はかなり多い。月間日照時間はかなり少ない。

(2) 天候経過

上旬： 低気圧や梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多く、4日と10日は大雨により岩手県や宮城県でがけ崩れ等の被害が発生した。また、梅雨前線が一旦南下して晴れた所もあったが、オホーツク海高気圧の勢力が強く、冷たく湿った東よりの風の影響で東北太平洋側を中心に低温や日照不足となった。

平均気温は東北日本海側で低く、東北太平洋側でかなり低い。降水量は多い。日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側でかなり少ない。

中旬： 期間の初めや終わりは低気圧や梅雨前線の影響で曇りや雨となった。期間の中頃は、梅雨前線が日本の南海上まで南下して晴れた所もあったが、寒気やオホーツク海高気圧の影響を受けやすく低温となった。

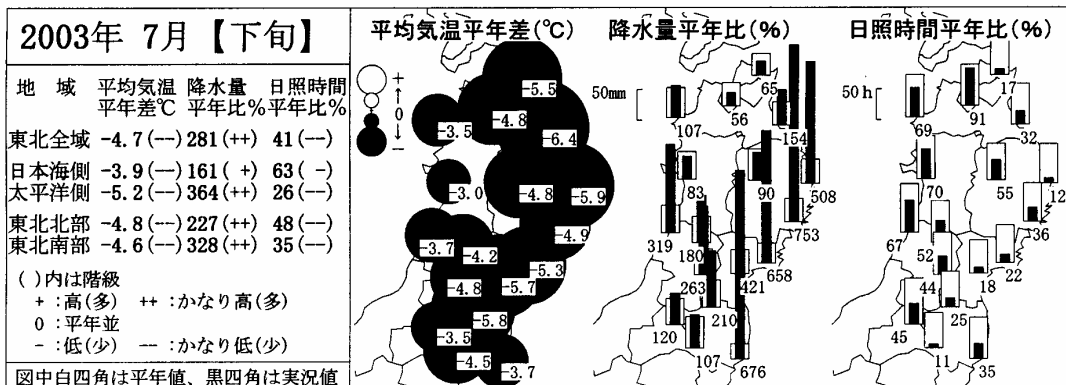
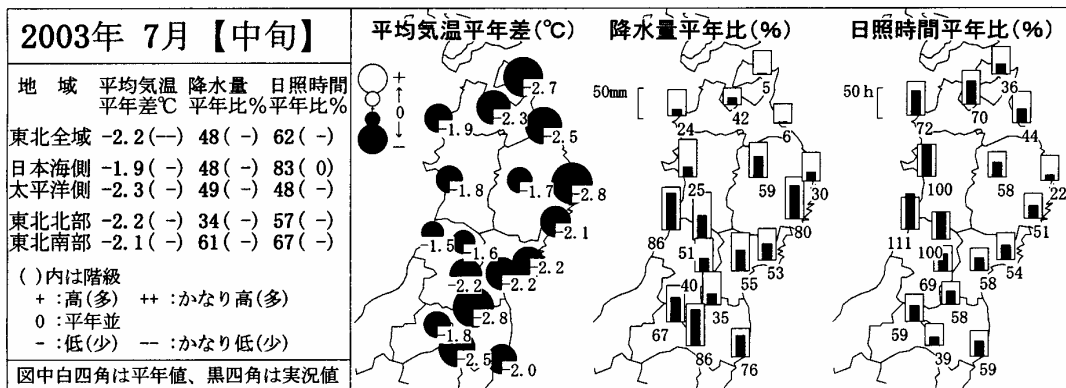
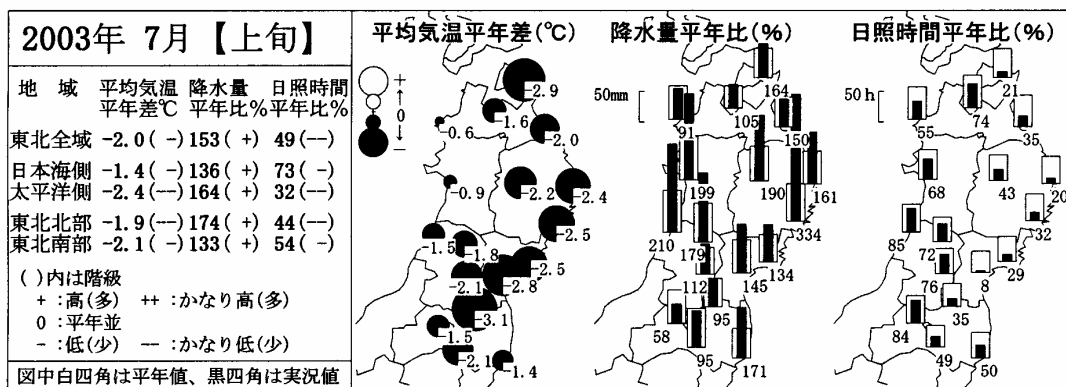
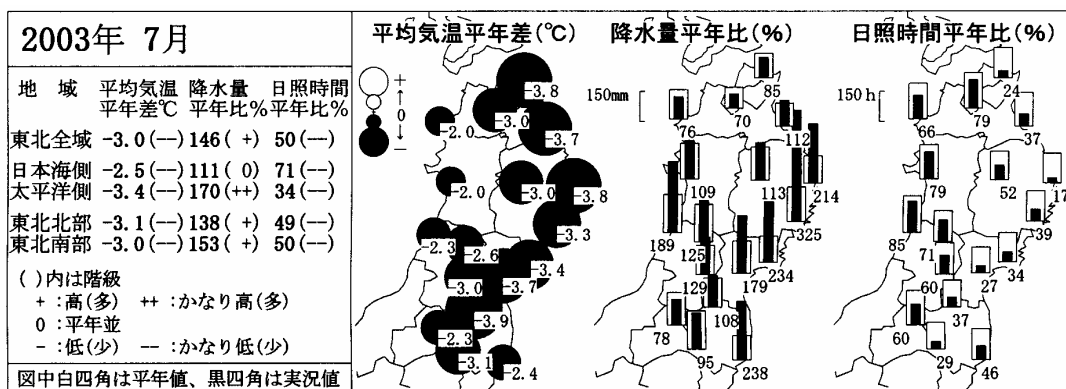
平均気温はかなり低い。降水量は少ない。日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。

下旬： 低気圧や梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多く、期間の中頃には大雨により岩手県と宮城県でがけ崩れ等の被害が発生した。梅雨前線が一旦南下して晴れた所もあったが、寒気や冷たく湿った東よりの風の影響で低温や日照不足となった。

平均気温はかなり低い。降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側でかなり多い。日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側でかなり少ない。

注) 気候統計値は、東北地方にある 17 地点の气象台、測候所、特別地域気象観測所の観測値より求めています。
細分地域については 2 ページ目脚注を参照して下さい。
平年値の統計期間は 1971-2000 年です。階級区分については、3 ページ目脚注を参照して下さい。

(3) 2003年7月の月・旬平均(合計)値の平年差(比)



注) 細分地域

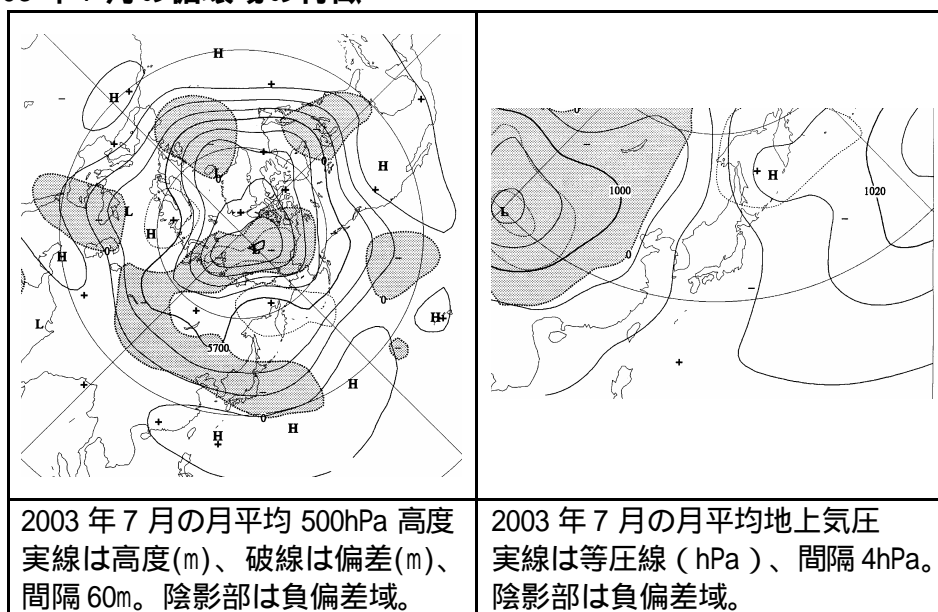
東北日本海側: 青森県津軽地方、秋田県、山形県、福島県会津地方
 東北太平洋側: 青森県下北・三八上北地方、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り地方
 東北北部: 青森県、秋田県、岩手県
 東北南部: 宮城県、山形県、福島県

(4) 月気候表 (2003 年 7 月)

地 点	月平均気温(平年差)			月降水量(平年比)			月間日照時間(平年比)		
		階級		mm	%	階級	h	%	階級
青森	18.1	(-3.0) *		71.5	(70)		140.6	(79)	
深浦	19.3	(-2.0) *		111.5	(76)	0	116.9	(66)	*
むつ	15.8	(-3.8) *		104.0	(85)	0	36.2	(24)	*
八戸	16.5	(-3.7) *		131.5	(112)	0	62.0	(37)	*
秋田	20.8	(-2.0) *		195.0	(109)	0	134.8	(79)	
盛岡	18.8	(-3.0) *		188.0	(113)	0	74.9	(52)	*
大船渡	17.7	(-3.3) *		553.5	(325)	+ *	58.5	(39)	*
宮古	16.2	(-3.8) *		298.5	(214)	+ *	25.7	(17)	*
仙台	18.4	(-3.7) *		286.5	(179)	+	34.2	(27)	*
石巻	17.9	(-3.4) *		306.0	(234)	+ *	50.1	(34)	*
山形	20.2	(-3.0) *		186.0	(129)	+	92.9	(60)	*
新庄	19.7	(-2.6) *		232.5	(125)	+	109.9	(71)	
酒田	20.9	(-2.3) *		352.5	(189)	+ *	152.0	(85)	
福島	19.6	(-3.9) *		156.5	(108)	0	49.4	(37)	*
若松	21.1	(-2.3) *		125.0	(78)		100.9	(60)	*
白河	18.9	(-3.1) *		177.5	(95)	0	37.6	(29)	*
小名浜	19.3	(-2.4) *		286.5	(238)	+ *	69.8	(46)	*

観測値欄の記号は、×：欠測)：欠測日を含む -：現象なし ---：観測をしていない
階級は +：高い(多い) 0：平年並 -：低い(少ない) *は「かなり」を表す

(5) 2003 年 7 月の循環場の特徴



月平均 500hPa 高度は、オホーツク海に強い正偏差があって、オホーツク海高気圧が月を通じて明瞭に現れた。また、日本の南の太平洋高気圧は西へ強く張り出したが、北への張り出しは弱かった。このため、日本付近は東西に負偏差が広がり、寒気やオホーツク海高気圧からの冷たく湿った東よりの風の影響で、記録的な低温・寡照となった。

月平均地上気圧でも、オホーツク海付近は強い正偏差で、オホーツク海高気圧の勢力は平年より強かった。しかし、三陸沖には等圧線のくびれがあり、東北地方は前線や低気圧の影響を受けやすく、曇りや雨の日が多かった。

注) 階級は「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の 3 階級とし、それぞれの階級幅は、1971～2000 年の 30 年間に於いて出現した値を等確率 (33.3%) に区分しています。また、低い(少ない)方または高い(多い)方から出現率 10% の範囲を、それぞれ「かなり低い(少ない)」、「かなり高い(多い)」と表し、補足的に用います。本資料の本文にある階級の表現も、「かなり低い(少ない)」、「かなり高い(多い)」に該当する場合はそのように記述し、細分地域により階級表現が異なる場合は地域を細分して記述しています。

(6) 月統計値の極値・順位の更新

(月平均気温、月降水量、月間日照時間の 3 位まで。)

月平均気温 低い方からの極値・順位更新

順位	地点名	平均気温()	これまでの最低()(年)	統計開始年	平年値()
1 位	新庄	19.7	19.9(1993)	1986	22.3
	若松	21.1	21.1(1988)	1953	23.4
	仙台	18.4	18.5(1993)	1927	22.1
	石巻	17.9	18.2(1993)	1888	21.3
2 位	大船渡	17.7	17.6(1993)	1964	21.0
	むつ	15.8	15.7(1988)	1935	19.6
	宮古	16.2	15.9(1988)	1884	20.0
	福島	19.6	19.5(1988)	1890	23.5
	白河	18.9	18.6(1988)	1940	22.0
	小名浜	19.3	18.7(1945)	1910	21.7
3 位	深浦	19.3	18.8(1945)	1940	21.3
	酒田	20.9	19.6(1945)	1937	23.2
	山形	20.2	19.9(1931)	1891	23.2

月降水量 多い方からの極値・順位更新

順位	地点名	降水量(mm)	これまでの最大(mm) (年)	統計開始年	平年値(mm)
1 位	大船渡	553.5	402.0(1999)	1964	170.3

月間日照時間 少ない方からの極値・順位更新

順位	地点名	日照時間(h)	これまでの最小(h) (年)	統計開始年	平年値(h)
1 位	大船渡	58.5	83.2(1988)	1964	150.0
	むつ	36.2	70.9(1956)	1935	151.1
	八戸	62.0	66.3(1988)	1937	169.0
	宮古	25.7	50.7(1941)	1902	149.4
2 位	盛岡	74.9	65.0(1941)	1924	143.2
	仙台	34.2	31.9(1988)	1927	127.7
	福島	49.4	39.3(1988)	1901	133.4
3 位	新庄	109.9	84.1(1991)	1986	154.4
	若松	100.9	87.1(1974)	1954	168.9

(7) 天候情報発表状況

7 月 4 日 11 時 30 分 東北太平洋側の低温と日照不足に関する東北地方気象情報 第 3 号
 7 月 11 日 13 時 50 分 低温と日照不足に関する東北地方気象情報 第 4 号
 7 月 18 日 11 時 00 分 低温と日照不足に関する東北地方気象情報 第 5 号
 7 月 25 日 13 時 00 分 低温と日照不足に関する東北地方気象情報 第 6 号